

表彰業務の概要及び表彰理由

部門	測量業務部門
ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃ やすだそくりょう 株式会社 安田測量
担当技術者	安田 晃昭（主任技術者）
業務名	測量業務委託 小鹿の入下沢その3 1（砂防調査）
工期	（着手）令和5年10月20日 ～（完了）令和6年3月15日
担当課所	鹿沼土木事務所
業務概要	<p>本業務委託は、土石流危険渓流である小鹿の入下沢（鹿沼市草久地内）の砂防計画を策定するにあたり、平面図等を作成することを目的として実施した測量業務である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・UAVレーザ測量 A=0.11 km<sup>2</sup></li> </ul>
表彰理由	<p>計測地域の大部分が山間部であったため、樹木下地形の高密度な計測が求められたことから、UAVの地形追従飛行や低高度での追加飛行を行い、要求仕様の約12倍という高密度での計測を行った。</p> <p>また、受注者の創意工夫により作成したVRシステム・3Dプリント・3次元点群データのビューワを活用した各種CIMツールは、事業説明や施工計画の検討等様々な場面での利活用が期待でき、高く評価できるものであった。</p>

部門	地質調査業務部門
ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃ ちゅうおうどぼくこうがくけんきゅうじょ 株式会社 中央土木工学研究所
担当技術者	古澤 裕（主任技術者）
業務名	地質調査業務委託 天頂沢その3 1（補助砂防）
工期	（着手）令和5年7月4日 ～（完了）令和5年11月15日
担当課所	矢板土木事務所
業務概要	<p>本業務委託は、土砂災害警戒区域である天頂沢（塩谷町船生）の砂防対策工を設計するにあたり必要な地質調査を実施した業務である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械ボーリング N=4本</li> </ul>
表彰理由	<p>ボーリング調査の結果から、軟弱地盤対策が必要となる可能性が高いことを予測し、構造物の安定計算等を行うために必要な追加調査の提案や設計業務実施業者と連携した対応を図る等、積極的な姿勢で業務を遂行した。</p> <p>また、標準貫入試験実施時の転落対策として三脚櫓に安全デッキを設置する工夫を行う等、現地作業の安全性を高める対応を積極的に行ったことは、高く評価できるものであった。</p>

部門	土木設計業務部門
ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃ ふきさわけんせつこんさるたんつ 株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ
担当技術者	高橋 昌宏（主任技術者）
業務名	主要地方道宇都宮向田線 板戸大橋橋梁詳細設計業務委託
工期	（着手）令和5年1月18日 ～（完了）令和6年3月12日
担当課所	宇都宮土木事務所
業務概要	本業務委託は、主要地方道宇都宮向田線平出板戸工区4車線化に伴う、板戸大橋の橋梁詳細設計を実施した業務である。 ・橋梁詳細設計 N=1式
表彰理由	3次元モデルを活用した設計を行い、複雑に鉄筋が配置される箇所等も可視化したことで、施工の実現性を考慮した精度の高い設計が行われた。併せて、実スケールによる点検動線の想定や完成イメージ図の作成等、CIMの特性を活かした多岐に渡る検討を実施した。 また、既設構造物との近接施工となるため、工法や手順の検討を詳細に行い、供用中の道路に影響が生じない確実な施工方法を立案するなど、その成果は高く評価できるものであった。

部門	建築設計業務部門
ふりがな 会社名	ほんざわけんちくせつけいじむしょ かぶしきかいしゃ 本澤建築設計事務所 株式会社
担当技術者	鯉沼 徹（主任技術者）
業務名	県営西川田住宅新築工事基本・実施設計業務委託
工期	（着手）令和4年7月11日 ～（完了）令和5年8月4日
担当課所	建築課
業務概要	本業務委託は、昭和36～38年に建築された県営西川田住宅5棟160戸について、3棟160戸へ建替をする基本設計及び1号棟・集会所の実施設計を実施した業務である。 ・基本設計（1・2・3号棟） N=1式 ・実施設計（1号棟、集会所） N=1式
表彰理由	BIMを活用した検討を行ったことで、視覚的に確認し易く精度の高い設計が行われた。 また、作業間での図面データ等の齟齬が生じないよう、クラウドを活用したデータ管理の徹底と専属のデータ管理担当者を配置し作業の手戻り防止に努めるなど、品質の確保や労働生産の向上に積極的に取り組んだことは、高く評価できるものであった。

部門	調査・点検等業務部門
ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃ しー・あい・えす 株式会社 シー・アイ・エス
担当技術者	小島 正樹（主任技術者）
業務名	交通量推計業務委託 大田原矢板線その3 1（道路調査）
工期	（着手）令和5年6月19日 ～（完了）令和6年3月8日
担当課所	矢板土木事務所
業務概要	<p>本業務委託は、一般県道大田原矢板線、主要地方道矢板那珂川線及び周辺道路の現状を分析し、将来交通量の推計を実施した業務である。</p> <p>・交通量調査 N=2箇所（交差点）      ・交通量推計 N=1式</p>
表彰理由	<p>交通量調査を行う際に、人力での調査に加え、AI画像認識システムを用いた交通量調査を実施したことで、観測精度の向上を図ることができた。</p> <p>また、特記仕様書で要求する交差点需要率算出に加え、ミクロシミュレーションを実施したことにより、交差点需要率算出時における欠点を補ったほか、視覚的に理解し易く今後の道路網整備の検討に活用し易い資料を作成するなど、その成果は高く評価できるものであった。</p>